

技術基準検討委員会の中とりまとめについて（概要）

平成17年11月29日
技術基準検討委員会

1. 技術基準体系の検証

- ・ 現行の技術基準体系については問題はなく、性能規定化による効果は着実に上がっていると考えられる。
- ・ 国は、鉄道事業者が策定する実施基準に記載すべき項目を明確にすること、また、技術基準の改正が着実・円滑に行われるようなしくみを検討することが必要

2. 近年の事故等から見た鉄道の安全性向上のための課題

- ・ 近年の事故等に関し分析を行った結果、件数は少ないものの多数の死傷者を生じる事故は鉄道システム内部の原因によるものであり、また、その原因に特段の偏りは見られないため、個々の事故事例を分析して得られる知見を踏まえ技術基準の見直しを検討することが適当

3. 鉄道の安全性・信頼性をより向上させるために検討すべき課題

- ① 運転士が適切な速度調節を行えないこともあり得るという前提に立って適切なバックアップ装置を備えることが必要
- ② 事故の二次被害防止のため、二重衝突の防止の確実化、事故時に装置が使用不能とならないための方策、運行再開時における事故防止について検討が必要
- ③ 事故の大多数を占める踏切事故防止には立体交差化等の道路の施策と連携協力した総合的な対策が不可欠。その他の外部要因に対しても地道な努力が必要
- ④ 事故時の被害軽減のため車体強度や車両構造のあり方について技術的な研究を進めていくことが必要
- ⑤ 事故の事実解明に有効な情報を記録する装置を活用して効果的な調査を行い、有効な再発防止対策を得ることが不可欠
- ⑥ 連絡体制の不備等による事故が発生していることから、基準上に組織間の役割分担や連絡体制に関する事項を定めておくことが不可欠
- ⑦ 鉄道事業者による管理のみならず、運転士による自己管理を促進するため運転士に対して飲酒や薬物を使用した状態での運転を禁止することが必要

4. 技術基準において当面緊急に対応すべき項目と今後の方向

① 速度制限装置の設置

曲線、分岐器、線路終端、下り勾配その他重大な事故を起こすおそれのある速度制限箇所速度制限装置を設置。これらの機能の追加には新たなシステムの開発・導入も推進

② 運転士異常時列車停止装置の設置

運転士の異常時に列車を自動的に停止させる装置を設置

③ 運転状況記録装置の設置

事故時の運転状況（速度やブレーキの状況等）を把握するための記録装置を設置

④ 防護無線の信頼性の向上

列車防護がより確実に行われるよう、防護無線への電源が断たれても別系統の電源に自動的に切り替わる等の対策を実施

⑤ 工事等における安全確保事項の明確化

工事、保守等において列車の運行に支障を及ぼさないよう鉄道事業者が連絡体制や責任分担等の必要な事項を明確化

⑥ 運行再開時の安全確認手順の明確化

⑦ 運転士に対する飲酒や薬物を使用した状態での運転の禁止

5. 今後本委員会において引き続き検討を行っていくべき事項

① 列車防護のあり方の検討

② 技術基準の見直しのしくみの検討

6. 研究・開発等を進めていく必要のある事項

① 鉄道におけるリスク分析、安全性評価手法の研究

② 脱線検知システムの研究

③ 車両の衝突安全性の向上に係る研究

④ 脱線防止のための研究の深度化

技術基準検討委員会について

(技術基準検討委員会のメンバー)

座 長	いえだ ひとし 家田 仁	東京大学 大学院 工学系研究科 教授
委 員	すだ よしひろ 須田 義大	東京大学 国際・産学共同研究センター 教授
委 員	なかむら ひでお 中村 英夫	日本大学 理工学部 電子情報工学科 教授
委 員	いしい のぶくに 石井 信邦	京浜急行電鉄株式会社 顧問
委 員	さきご みのる 笹子 稔	社団法人 日本鉄道運転協会 専務理事
委 員	うちだ しげる 内田 滋	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 鉄道建設本部 電気部長
委 員	うちだ まさお 内田 雅夫	財団法人 鉄道総合技術研究所 理事
委 員	まつもと あきら 松本 陽	独立行政法人 交通安全環境研究所 交通システム研究領域長
委 員	あらい かずお 荒井 一男	関東鉄道株式会社 鉄道部 運転車両課長
委 員	うしじま まさたか 牛島 雅隆	東日本旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 安全対策部長
委 員	とうはま ただよし 東濱 忠良	東京地下鉄株式会社 取締役
委 員	やまべ しげる 山部 茂	南海電気鉄道株式会社 常務取締役 鉄道営業本部長
委 員	よしだ たかとし 吉田 孝登志	東海旅客鉄道株式会社 建設工事事部 次長

(開催状況)

平成17年	6月28日(火)	第1回	福知山線事故の状況、近年の事故発生状況、 鉄道に係る技術基準の考え方
	9月8日(木)	第2回	航空・鉄道事故調査委員会の経過報告及び建 議、最近発生した事故等を踏まえた技術基準 の見直しの必要性について
	10月25日(火)	第3回	中間とりまとめ(案)について
	11月29日(火)		中間とりまとめ 公表